

6章 運営スタッフ育成のための調査・資料作成

6章 運営スタッフ育成のための調査・資料作成

1. 概要

バレエ団の経営はチケット収入や助成金等だけでなく、寄付金収入やスポンサー収入といったファンドレイジングによっても支えられている。欧米のバレエ団と比較して、日本のバレエ団は企業スポンサーや寄付金等からの収入面が弱いと言われており、経営基盤強化のため、ファンドレイジング機能の強化が求められている。

本事業ではバレエ団運営スタッフのファンドレイジング能力強化を目的として、調査を行った後に資料を作成した。スポンサー等を募る場合、バレエ団運営スタッフはバレエ界についての知識がない企業関係者らに、バレエ団の活動だけでなくバレエ業界全体への説明を求められることがある。バレエに関する調査は点在するものの、産業として全体を俯瞰する形でまとめられた調査や資料はこれまでなかった。本事業を通じて、バレエ団運営スタッフがファンドレイジングの場で活用できる資料を作成し、日本におけるバレエ団運営底上げの一助となることを見込んだ。

(調査協力：昭和音楽大学バレエ研究所)

2. 調査

日本バレエ界を産業として俯瞰するため、以下の項目を中心にデータや調査結果、事例等を収集した。

- 日本におけるバレエ公演概況（公演数、観客動員数、動員1人当たりの平均単価等）
- 海外のバレエ団に所属する日本人ダンサー
- 日本におけるバレエ教育市場（バレエ教室数、バレエ学習者数、バレエ教師数 等）
- バレエ鑑賞者の意識（学校巡回公演参加者を対象としたアンケート調査 等）
- バレエと他ジャンルとのコラボレーション事例
- 企業との提携事例
- バレエ用品市場 等

3. 資料作成

「Ballet The Next Stage 次のステージへ 日本のバレエの現在地と、これからへの動き」と題した資料（A4横長・全20ページ）を作成した。本資料は各バレエ団が活用するほか、日本バレエ団連盟のウェブサイトで資料の内容をコンテンツとして取り上げることが予定している。連盟加盟団体だけでなく、日本全国のバレエ団や芸術団体において、スタッフ育成の一助として活用されることが見込まれる。

Ballet

The Next Stage

次のステージへ 日本のバレエの現在地と、これからへの動き

一般社団法人 日本バレエ団連盟

“

バレエ (ballet) は
舞踊、音楽、美術等で構成される総合芸術です
ルネサンス期のイタリアに起源を持ち
言語や文化圏を超え
世界的な人気を集め続けています

日本では、1912年に帝国劇場で初めてバレエが上演されました。
1920年頃に舞踊家エリアナ・バプロバが鎌倉でバレエを教え始めたことが
日本におけるバレエの歴史のはじまりと言われています。
戦後になって本格的に開花したバレエ文化は、いくつかの段階をへて発展してきました。
そして今、次の段階へと進もうとしています。

”



東京シティ・バレエ団「くるみ割り人形」
© Takashi Shikama

世界各地で活躍するダンサーを輩出

日本人が海外のバレエ団で活躍するニュースは、珍しいものではなくなりました。細やかで芸術性の高い表現や確かな技術力を特徴とする、日本人ダンサーの総合的な質の高さは、国際的にも定評があります。こうしたダンサーたちを輩出し続けている日本のバレエ界にも、熱い眼差しが注がれてきています。

日本のバレエ団による海外公演も実施されています。たとえば東京バレエ団は、これまで世界32カ国の155都市で公演を行ってきています。パリ・オペラ座、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ポリショイ劇場、マリインスキー劇場を含む各地の歌劇場で、古典の全幕作品から現代振付家の名作まで幅広いレパートリーを上演しています。

海外のバレエ団に所属する
代表的な日本人ダンサーの人数^{※1}と、
そのうち最高位を務めているダンサーの人数^{※2}

249人、うち46人

(出典) 一般社団法人日本バレエ団連盟
文化庁委託事業「令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」
「新進バレエダンサー・バレエ団運営スタッフの育成、並びに次世代の観客
育成に向けた調査」報告書付録

※1 「海外のバレエ団で活躍する主な日本出身者（2021/2022シーズン）」
として左記の出典資料に掲載されたダンサーの合計人数。この人数は海外の
バレエ団でプロとして活動しているダンサーの一部です。さらに海外で研修
中のダンサーも数多く存在しています。

※2 階級制がある場合の最高位（プリンシパル等）

文化となったバレエ

バレエは、特別な時間に浸ることができる芸術として、あるいは自ら体を動かして参加する活動として、日本の多くの市民の生活の一部となっています。一世紀を超える長い年月をかけて広がり、耕されてきたバレエへの関心と愛着の厚みは、「文化」をなしていると言えるほどです。

その規模は、公演の数をはじめとするデータにも表れています。日本と世界がコロナ禍に見舞われる直前の2019年には、国内での公演は2,817回を数えました。2000年代前半に3,000回の大台を超えてから一度落ち着いた後、公演数は再び増加しました。コロナ禍により公演活動はスローダウンを余儀なくされましたが、長いトンネルの中でも、各バレエ団は皆さまが待つ舞台へ戻るための努力を重ねてきています。

日本で開催された
バレエ・ダンスの公演数（2019年）

2,817回

(出典) ライブ・エンタテインメント調査委員会「2021 ライブ・エンタテインメント白書 レポート編」P.22

日本のプロフェッショナルバレエ団の公演スケジュールは、こちらから。

<https://japan-ballet.com/events/>



バレエを楽しむ層の厚み

2019年には、日本でバレエ・ダンスの公演（国内の団体と、来日した海外の団体によるもの）へ足を運ばれた方々の数は、のべ**114万人**にものびりました。

あらゆるライブ・エンタテインメントを苦境に追い込んだコロナ禍に見舞われながらも、待ってくださっている皆様のために、バレエ界はこれまで以上に美しく魅力的な舞台をお届けしています。

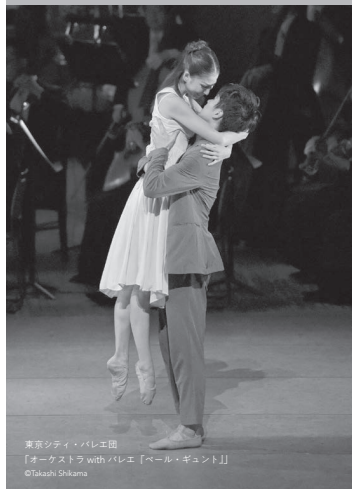
日本で開催された
バレエ・ダンス公演への
観客動員数（2019年）

114万人

日本で開催された
バレエ・ダンス公演における
動員1人当たり単価（2019年）

7,155円

（出典）ライブ・エンタテインメント調査委員会「2021 ライブ・エンタテインメント白書 レポート編」P.22
2019年1月～12月に開催された公演のうち、チケット事業者（チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス、CNプレイガイド）による取り扱い公演および、その他取り扱い公演（興行主催者やアーティストの公表情報、専門誌やフリーペーパーなどの媒体にのみ掲載された公演）を対象として推計された値。動員数＝チケットの推計流通数。



東京シティ・バレエ団
「オーケストラ with バレエ『ペール・ギュント』」
©Takashi Shikama

“
一見クラシカル、
それでいて革新的

バレエでは、古典として「白鳥の湖」「くるみ割り人形」のような作品が長く愛され、世界中のバレエ団で上演され続けています。このことは、日本でも各バレエ団が新たな創意工夫や挑戦をし、芸術性を極限まで磨こうとする土壌にもなっています。同じ演目でもバレエ団や出演者によってその表現は異なり、演じられるたびに新しいのが、バレエ公演の特徴です。近年は演目の傾向も更新され、バレエと他のジャンルとの交流も増えています。特に、コンテンポラリーダンスとの幅広い共創は、ジャンル間の境界線を引きにくくするほどです。静かに変貌を続けるバレエの姿、ぜひお見逃しなく。

”



東京バレエ団「白鳥の湖」
©Kiyonori Hasegawa

牧阿佐美バレエ団「ボレロ」
©瀬戸秀英

進化するバレエ

日本のバレエ団は、それぞれの個性を活かし、古典作品の新制作や新たな作品づくり、一般的なバレエのイメージとは少し異なる魅力的な作品の紹介にも取り組んでいます。様々なテーマが取り上げられ、表現の幅が広がり続けているバレエの世界。想像以上にバラエティに富んだ公演をお楽しみいただけます。



井上バレエ団
「シルヴィア」新制作



小林紀子バレエ・シアター
「ザ・レイクス・プログレスー
“レイク”放蕩鬼の生涯」



貞松・浜田バレエ団
「DANCE」



スターダンス・バレエ団
「緑のテーブル」



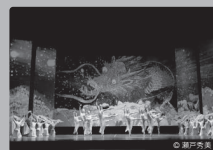
東京バレエ団×勅使川原三郎
「雲のなごり」



東京シティ・バレエ団
「Octet」



法村友井バレエ団
「アンナ・カレーニナ」



牧阿佐美バレエ団
「飛鳥 ASUKA」

津々浦々で活動するバレエ教室

日本では、すべての都道府県にある民間のバレエ教室が、バレエ教育の屋台骨を担っています。その数は四千をゆうに超え、バレエ人口のすそ野を広げる原動力となってきました。バレエを学ぶ生徒の数は、全国で25万人超です。そのうち男性は7,900人程度（全体の約3.1%）で、10年前の1.4%からじわりと増えてきています。男性バレエダンサーの活躍が知られるようになったことが、その背景にありそうです。

4,260

活動中のバレエ教室の数

13,000人

バレエ教師の数

25.6万人

バレエを学ぶ生徒の数

7,900人

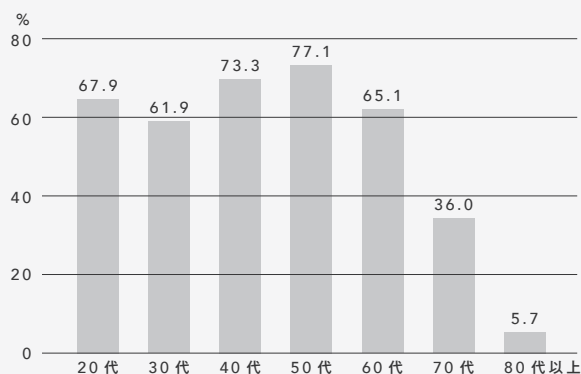
男性のバレエ生徒の数

（出典）昭和音楽大学バレエ研究所「日本のバレエ教育環境の実態分析」
※文化庁委託事業 令和3年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
「日本のバレエ教育に関する全国調査」

（数字はいずれも2021年現在の推定値）

幅広い世代が踊るバレエ

日本のバレエ教室には、幅広い世代の人が通っています。子どもたちの習い事として人気があるだけでなく、年齢を重ねても楽しむことができるのが、バレエの魅力の一つです。



日本国内のバレエ教室における各年代の在籍率

(出典) 昭和音楽大学バレエ研究所「日本のバレエ教育環境の実態分析」
※文化庁委託事業 令和3年度「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」
「日本のバレエ教育に関する全国調査」

特別でありつつ、身近なものに

バレエに関心を寄せる方々は、どのようにバレエに親しまれているのでしょうか。全国公演に来場されたお客さまにお尋ねしてみると、日頃から、**動画**、**情報サイト**、**SNS**といったメディアでバレエに親しんでいる方が多くいることがわかりました。非日常をもたらしてくれるバレエを日々の生活につなげるツールは、年々進化しています。



動画



情報サイト



SNS



雑誌



家族・友人

動画、情報サイト、SNSを通じて
バレエについての情報を得ている割合
(全国公演の来場者) 複数回答 n=2,555

動画
44%

情報サイト
30%

SNS
25%

(出典) 一般社団法人日本バレエ団連盟
令和4年度に文化庁「統括団体によるアートキャラバン事業(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)」の一環として実施された全国公演の来場者アンケート結果
(2023年1月5日までのデータ集計分)より

※ SNS については、「SNS で日本のバレエ団やダンサーの投稿をチェックしている」方の割合



（上野の森バレエホリデイ 2019）開催時の会場の様子

“
 バレエを、
 もっともっと身近に
 ”

「バレエと出会う、バレエで遊ぼう！」というテーマのもと、2017年にはじまった「上野の森バレエホリデイ」。本格的なバレエ公演を上演する他、バレエを観る、踊る、聴く、知る、学ぶ、買う、遊ぶ…など、バレエに関連した幅広いイベントを集中開催する催しです。“敷居が高い”と思われがちなバレエをもっと身近に。

日本が誇る芸術の殿堂、東京文化会館を会場として、毎年4月末頃に開催されています。

バレエから生まれる
 プロダクトのインスピレーション

バレエ界に色どりを加えてくれる大切な存在に、バレエ用品に関わる方々があります。デザインする、作る、販売・提供する、届ける、修繕する、二次利用を促進するといったさまざまな立場で、バレエをする人を支え、楽しませてくれています。独自の魅力を発信するバレエショップや、バレエを題材にした商品を販売するお店も国内外に増え続けています。

深い芸術性や多様な表現力で想像力を広げてくれるバレエが、新たなプロダクトを生み出す現場にインスピレーションをもたらす例も増えています。



↑ バレエショップの例：2022年3月にオープンしたチャコット代官山本店3階のレッスンウエア売場の様子

バレエ団が企業とコラボレーションすると、何が生まれるのか。
 その先には、可能性が溢れています。



⌚ 神戸発のバレエシューズブランドが、神戸に拠点を置く貞松・浜田バレエ団とコラボレーションした事例。

2022年9月の「コペリア」上演を記念し、同団所属ダンサーがデザインしたタウンユースのバレエシューズと公演チケットのセットが、同ブランドの公式オンラインショップで限定販売されました。



↑ 世界的な人気のロールプレイングゲーム「ドラゴンクエスト」(スクウェア・エニックス)は、バレエのレパートリーとして1995年から国内外で上演されています。2022年10月には、ドラゴンクエストの世界観を表現する兵庫県淡路島公園「ニジゲンノモリ」で、スターダンサーズ・バレエ団による公演が行われました。同バレエ団は、パリで毎年開催されるジャパンエキスポでも、この作品を2019年に上演しました。

物語を、華やかにリアルに現出

バレエという舞台芸術が持つ非日常性は、物語、ファンタジー、アニメーションといった世界との親和性も高く、テクノロジーも活用しながら、多くの可能性に形を与えられ始めています。

↓ 人気漫画をアニメ化した「ダンス・ダンス・ダンスール」の制作では、東京バレエ団のダンサーが“モーションアクター”として登場。ダンサーが自分の体にモーションキャプチャを付けて踊り、その動きがキャラクターによって再現されることで、作品が追求するリアルさが実現しています。



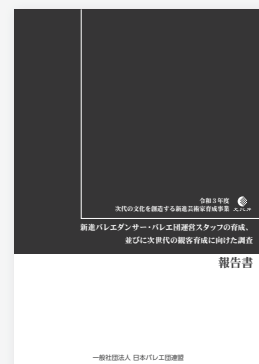
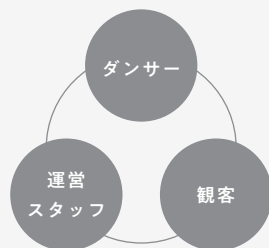
© ジョージ新井・小字良/ダンス・ダンス・ダンスール制作委員会

→ KADOKAWAの児童文庫レーベル「角川つばき文庫」には、三銃士をテーマとする作品があります。牧阿佐美バレエ団が上演した「三銃士」のプロモーションでは、角川つばき文庫に登場する人物が活躍しました。



次世代のための複眼的なアプローチ

日本のバレエの将来のためには、①新進バレエダンサー、②バレエ団運営に携わるマネジメント人材、そして③次世代の観客を、それぞれ育成していく必要があります。日本バレエ団連盟では、この3つの側面からの人材育成に継続して取り組んでいます。



子どもたちが“本物”に触れる経験と、そのインパクト

日本のバレエ団は、劇場での子ども向けのバレエ公演を開催したり、学校の体育館でバレエ公演を行う文化庁の「巡回公演事業」に参加したり、次世代の観客となる子どもたちに、バレエ鑑賞の機会をつくることを大切に考えています。

バレエ鑑賞は、みずみずしい感性をもった子どもたちにとって、心を刺激するインパクトをもっています。そのインパクトは、子どもたちの意識・心境にポジティブな変化をもたらしていることも明らかになりました。



バレエに「魅了」され、その経験を「刻印」した子どもの割合

77%



鑑賞後2週間に情操面でポジティブな変化を感じていた子どもの割合

69%

(出典) 一般社団法人日本バレエ団連盟

文化庁委託事業「令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

「新進バレエダンサー・バレエ団運営スタッフの育成、並びに次世代の観客育成に向けた調査」

リーフレット「子どものためのバレエ公演～バレエ鑑賞体験が子どもたちにもたらす心の動き」

※ 調査は2021年10月から11月の期間に実施され、

小学校7校のご協力のもと、

合計1188人の子どものお答えいただきました。

バレエを、日本全国へ届ける

日本バレエ団連盟は「アートキャラバン事業[®]」として、「バレエで全国に希望を」を合言葉に、会員団体それぞれの魅力を活かした演目で、全国各地に本格的なバレエ公演をお届けしています。

劇場に足を運ぶことが難しい状況にある方々にもバレエ公演をお楽しみいただけるよう、無料・期間限定で公演映像全編の配信も行いました。



アートキャラバン事業による
 全国33都道府県での累計公演開催数
 (2021、2022年度の合計)

61公演

※令和3年度は文化庁「大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業」の一環として31公演、令和4年度は文化庁「統括団体によるアートキャラバン事業（コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業）」の一環として30公演を実施



東京シティ・バレエ団
アウトリーチ・コンサート

東京都江東区の芸術提携団体として、普段なかなか劇場に行けない子どもたちのために小学校を訪問し、参加型の体験プログラムをお届けしています。



スターダンサーズ・バレエ団
DANCE FOR PD

彩の国さいたま芸術劇場との協働により実施している、パーキンソン病の患者さま向けのダンスプログラムです。(オンラインクラスとして開催)

バレエを、誰にでも開かれたものに

バレエ団は、さまざまなアプローチで、とすれば敷居が高く感じられやすいバレエへの壁を下げ、取り払っていくための活動を行っています。それは、バレエのまだ見ぬ可能性を見つけていく試みでもあります。



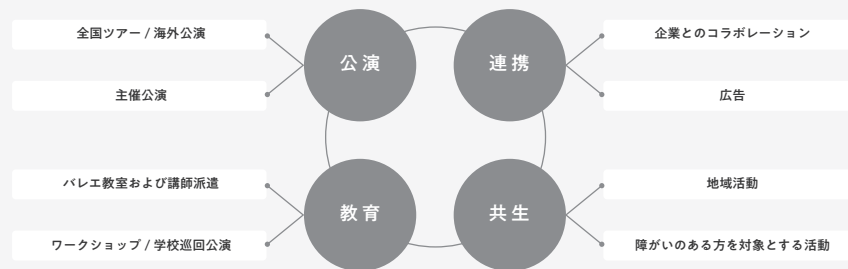
スターダンサーズ・バレエ団
リラックスパフォーマンス

劇場空間での鑑賞に不安がある方のためにアレンジされた公演形態です。バレエを誰でも楽しめるようにできるよう、継続的に実施されています。

日本バレエ界の活動“4つの柱”

バレエ団は公演活動を行うだけでなく、様々な立場の方にバレエを楽しんでいただけるよう、バレエと社会をつなげる取り組みを積極的に行っています。

「公演」「教育」「連携」「共生」が、バレエ界の活動の大きな柱です。



世界に誇れる日本バレエ界の発展を

日本には数多くのバレエ団があり、それぞれが個性を打ち出して魅力的な活動を展開しています。プロフェッショナル・バレエ団を統括する全国組織として活動している日本バレエ団連盟には、9つのバレエ団が加盟し、バレエ団の枠を超えて共通する課題に連携して取り組んでいます。

日本バレエ団連盟は、日本バレエ界のさらなる発展に向けて、バレエ団の力を合わせて活動してまいります。

加盟団体



井上バレエ団



小林紀子バレエ・シアター



貞松・浜田バレエ団



スターダンサーズ・バレエ団

準加盟団体



新国立劇場バレエ団



チャイコフスキー記念
東京バレエ団



東京シティ・バレエ団



法村友井バレエ団



牧阿佐美バレエ団

各団体のプロフィールとオフィシャルサイトは、こちらのページでまとめてご紹介しています。
<https://japan-ballet.com/members/>



次のステージへ

日本のバレエの現在地と、これからへの動き

2023年3月発行

発行：一般社団法人日本バレエ団連盟

協力：昭和音楽大学バレエ研究所

本資料の全部または一部を、著作権法で定められている範囲を超え、無断で複製・転載・公衆送信等を行うことはできません。

非売品

日本のバレエの次の景色を、皆様とつくっていただければ幸いです。

ご一読、誠にありがとうございました。

<https://www.japan-ballet.com/>



一般社団法人
日本バレエ団連盟



令和4年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
「新進バレエダンサー・運営スタッフの育成、並びに
バレエ団運営基盤整備および次世代の観客育成に向けた調査」